

## 第2回瑞浪市教育振興基本計画推進委員会 会議録

■会議の日時:令和5年5月16日 13時30分から14時25分

■場所:瑞浪市総合文化センター 3階 講堂

■出席者:教育振興基本計画推進委員会委員

牛島正治、岩島哲也、西尾正代、横地玲子、萩尾英明、廣田薫  
成瀬弥生、伊藤加代子、柴田明芳、加藤純子、伊藤道子

欠席者:水向裕樹、安藤裕子

事務局:林恵治事務局長、滝川直樹事務局次長兼学校教育課長、  
兼松美昭教育総務課長、奥谷ひとみ社会教育課長、  
水野義康スポーツ文化課長、山崎美和教育総務課総務係長、  
鈴木佑佳教育総務課主事

■議事:

### 1. 事務局長あいさつ

本日はお忙しい中お集まりいただきまして誠にありがとうございます。昨年11月の末に第1回目を開催させていただきまして、しばらく時間が空きましたが、本日第2回目でございます。

はじめに委員の変更がございましたので、ご報告させていただきます。PTA連合会の代表が小池さんから、今年度会長の水向裕樹さんに変更されました。4月27日付けで委嘱しておりますのでご報告させていただきます。

本日は昨年度委員の皆様よりご意見を頂戴後に実施しました市民アンケートの調査結果、ヒアリング調査の結果をご報告させていただきながら、計画策定に向けたご意見を賜りたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

事務局:

当委員会の委員総数は13名でございますが、本日、安藤委員、水向委員、2名の欠席の連絡をいただいております。よって本日11名の委員にご出席をいただいておりますので、瑞浪市教育振興基本計画推進委員会規則第5条第2項の定めによりまして、過半数の出席を満たしていることを報告申し上げます。

### 2. 委員長あいさつ

こんにちは。大変暑い中お疲れ様です。上着等々を取っていただき、肩の力を抜いてご参加いただけたらと思いますので、よろしくお願いいたします。

議事に入ります前に、瑞浪市の情報公開条例23条の規定によりまして、本日の審議会は公開といたします。(傍聴希望者はなし。)

議事を進行させていただきます。皆さんの活発な議論をよろしくお願いいたします。

### 3. 議事

#### (1) アンケート調査結果、(2) 団体ヒアリングの結果について

事務局より説明

委員長：

今、無作為に選ばれた市民と、小学校 5 年生と中学校 2 年生の子どもとその保護者、教職員のアンケートの結果について、また、関連する諸団体のヒアリングの調査の結果について説明をいただきました。

今のご説明の中で、何かご質問やご意見がありましたらお聞かせください。

課題に対する具体的な手立てや対策についてもお聞きしてよろしいでしょうか。

事務局：

次回の基本構想策定に向けて、各課が課題に対する対策や計画を考えて立てることになっておりますので、現段階ではお答えできない部分が多いかと思っております。

委員長：

はい、ということですので、今の結果とそれに関連するご質問をお受けいただければと思います。

委員：

10 ページの子ども向け調査の結果ですが、2 番目の心配ごとで悩みがあるとき、誰に相談するかというところでは、読ませていただいている、最初に引っかけたのが、ここの中の誰にも相談したくないというのが 12.6%でした。これを今後どのようにしていくかというのが、今議長さんおっしゃったように課題になるかなと思っておりますので、ここの点についてどのようにしていくかということをお聞かせいただきたいなと思っております。

委員長：

ありがとうございます。そういうことですね。これについて何か、今浮かぶことについて事務局さんありますか。

事務局：

学校教育課の滝川です。このように相談したくないと言っている子どもたちが思いのほか多くて、私もびっくりしています。学校では日頃、アンケートを取りながら、言葉に出せない部分について拾う、あるいは日常の様子を観察しながら、おやっと思うと

ころがあれば積極的に声をかけることなどをしておりますが、年頃になってくると相談しない子もいるのも実際あります。そのあたりをどうやって拾っていくか、仲間同士の中の話から拾うなど、いろんな場面で考えていきたいなと思っております。

委員：

今は誰にも相談しない。お友達として相談できる相手がいれば良いですが、ネット社会で、どんどんネットの中で相談したりした時に、親も入れない、他の人が分からない世界で相談をして、色々問題が起きてくる場合の事件などを今よく耳にします。そのような観点からも、今学校でもそういう勉強されていると思いますが、間違った方向へ行かないようにできるといいと思っています。

事務局：

実際、子どもたちには情報モラル教育というような形で、正しいネットの活用の仕方等の指導は日常にしております。また、子どもたちがそういうネット社会にいるということを踏まえながら、例えばいろんな窓口、LINE で相談できる場所がありますので、全ての子どもたちの相談を受けることはないと思いますが、窓口を広げていこうと思っています。

委員長：

ありがとうございます。その他いかがでしょう。

はい。せっかくの機会ですので、私も一つ質問させていただきます。小学校、中学校、幼稚園も含めてですが、先生方は本当に忙しいと思っています。それを解消するために必要なことということで、教職員向けの調査結果で教職員数を増やすという意見があり、非常勤の中でも教員の数の確保というようなことがあります。正規の職員は定数で決まっておりますので、なかなか難しいと思いますが、例えば、講師の登録、瑞浪市は幼稚園も小中学校も含めてどうでしょうか。

事務局：

人材不足というか、そういう時代にありまして、講師登録がないというような状況になっております。これは瑞浪市に限ったことではなくて、東濃地区全体でも教育事務所の方に相談しても、今、講師登録がないよという形で、特に講師については非常に困っております。ただ、学業支援とか、そういうサポートする仕事については時々市役所の方に来てくださる方も見えますので、枠があればそういう方を活用するようなことはしております。

委員長：

ゼロですか。

事務局：

はい、ゼロです。

委員長：

はい、ありがとうございました。いかがでしょうか。

委員：

1ページの調査対象の回収率ですが、市民向け調査の方が38.4%という他のアンケート回収率と比べると突出して低いです。前回のアンケートを持ってきてないので、書いてあったら失礼します。この38.4というのはどのように捉えていますか。

事務局：

前回のアンケート結果が41.2%で、今回は下回っていますが、4割を見込んで調査を実施しました。統計上の信頼度としては信頼度95%以上の計算になっていることから、信頼できる結果が出ていると考えております。

また、その他の調査については、校長会を通じて学校から配っていただいたということ、子どもについては、学校で一斉に調査していただきましたこと、先生については、持っているタブレットで回答していただいたことから、回収率が高くなっていると思っております。今回学校のご協力があったことと感謝しております。ありがとうございました。

委員長：

その他いかがでしょう。

委員：

教育団体ヒアリングの2ページですが、上から2番目の生涯スポーツにおける課題のところ、団の資格者の登録、資格更新料、資格取得という受講料ですが、スポーツ少年団の指導者の資格をボランティアで皆さんお手伝いしていて、ここ3年くらい前から1万円の国への登録料がいることになりました。少子化で子どもたちが少ない時にそれだけのお金を自分たちで払って指導できるかということで、負担も大きくなり、指導者の中で問題になっています。今は個人負担もしくは団体で出しているところもありますが、ほとんどが個人の負担になっており、そこが課題ではないかと思っています。

あとその下の「数年前より町の体育委員会という組織がなくなったことで、町のス

スポーツ推進員として関わる場所がなくなり、町づくり、公民館活動の中で動きづらい状況になっている」という文章がございました。ここで言われている体育委員会というのは、スポーツ推進員さんは分かるのですが、町の体育委員会さんという組織は地域によってこれは違うのでしょうか。スポーツ推進員さんも人数が減ってきており、なかなか大変だと聞いておりますが、ここでいう体育委員会は、どこの体育委員会なのかと思い、教えていただきたい。

事務局：

市の組織ではないので、直接把握はしてないですけど、今言われたような地域ごとにある体育部長とか、そういった組織のことだと思います。

委員：

組織がなくなったって書いてあるのですが。

事務局：

こちらではそこまで把握していません。

委員：

文章的になくなったと書いてあったので、それが全体として考えるのか、一部なくなったところもあるとか、その辺のところの文章がどうなのかなと思いました。

事務局：

また詳細について調べて、また報告させてもらいたいと思います。

### (3)教育における現状について、(4)国・県の計画策定の状況について

事務局より説明

委員長：

現状と課題から基本方針について説明いただきましたが、何かご意見ありますでしょうか。

各種施設の利用状況などが令和2年度で急激に下がっていますよね。これはコロナの影響かなと思っています。2年、3年、4年と少しずつ盛り上がってはきていますが、やはりコロナの影響で、これから先5年度については、もしかしたら増えるのかなと実感しているところです。

その他のところで、生涯スポーツの資料の6ページですが、スポーツ少年団の状況で、子どもたちの登録人数がずっと下がりっぱなしになっているような気がするのですが、その辺のことは、コロナ以外の原因と考えられるのでしょうか。

事務局:

一番考えられるのは、子どもの数の減少です。

委員長:

少子化の影響が大きいですね。この国の振興基本計画を受けながら、県が策定していただいて、その辺のことも鑑みながら、皆さんのご意見を伺いながら、瑞浪市の基本計画をこれから策定していきます。本当に奇譚のないご意見をここでいただけると、瑞浪市の今後の教育に生かせる施策が生まれるのではないかと思います。具体的には次回ですね。

事務局:

アンケート結果や国・県・市の総合計画と、齟齬のないような形で計画を立てていくわけですが、本日アンケート結果等踏まえ、国・県の状況等について説明させていただきましたので、今回の意見をいただきましたら、検討しながら、今回の計画案の方を立てていきたいと思っておりますので、ご意見いただければと思います。

委員長:

いかがでしょうか。

委員:

資料3の1ページ目の幼稚園の園児数が3歳児以上ということですが、竜吟幼稚園と日吉幼稚園の利用者が1桁になっています。もう少しいるような気がします。

委員:

教育部の人数だけではないかと思います。

委員:

陶幼稚園が22人は多すぎるかなと思いました。おそらくこれは間違いでは。

事務局:

学校基本調査の園からの報告から、5月1日現在で調べましたが、再度調べ直しまして、最終的には、5月1日付の教育調査で報告した数字を現状として上げさせていただきます。数が違っておりましたら、次回報告させていただきたいと思っておりますので、よろしくをお願いします。

委員長

これ、カウントは、幼稚園でいうと教育部だけのほうがいいですか。それとも、保育部さんも入れたカウントにしたほうが分かりやすいですか。

事務局：

また検討させていただこうと思います。瑞浪市では、幼稚園で保育と教育を一本化という形で、保育で受けている子も教育を一体で受けています。どうするか一度確認をさせていただき、ここに入れるのか、学校基本調査と合わせたほうがいいのか、そこも含めて検討をさせていただきたいと思います。必要であれば、次回のところで訂正させていただくということをお願いいたします。

委員長

ありがとうございます。それでは先に進めます。

#### (5)今後のスケジュールについて

事務局より説明

委員長：

前回のスケジュールと少し違ったところがありますが、そのことについてご質問等々大丈夫ですか。また、次回の会議が7月13日(木曜日)13時30分に予定されていますので、予定に入れておいてください。

他に何かご意見やご質問がありましたら、ここで受けいたします。これをもちまして第2回瑞浪市教育振興基本計画推進委員会の議事を終了いたします。進行を事務局にお渡ししますので、お願いします。

#### 4. その他

事務局：

牛島委員長さん、スムーズな進行ありがとうございました。

本日は、事務局からの連絡事項はございませんが、もし委員の皆様からご質問があれば、お受けしますので、ご希望がありましたらお知らせください。よろしいですか。

それでは、第2回瑞浪市教育振興基本計画推進委員会をこれで終了させていただきます。

皆様ありがとうございました。